

外部アドバイス結果

1 外部アドバイスの目的	府が運用する環境マネジメントシステムがISO14001の要求事項に準じて適切に実施・維持されているかについて、第三者の視点により調査するとともに、システム運用等の改善に関する助言を得ること。	
2 適用範囲	大阪府庁環境マニュアルの適用範囲を対象とする。	
3 実施日時	平成27年2月19日 9:40～11:50	
4 外部アドバイザー・氏名	大野RMS研究所 代表 大野 敏雄氏	
5 外部アドバイス実施内容	(1)環境マネジメントシステムの実施・維持についての改善アドバイス (2)事務局の取組状況についての改善アドバイス	
	アドバイス	府の対応
	<p>【目標未達成の場合の対応について】 ・目標が未達成の場合、その原因究明と対策が不十分な印象。原因と対策を示すべきでないか。</p> <p>【見える化の推進】 ・エコ課計簿の数値を、毎月の進捗状況に関心を持ってもらいながら、日常行動を行うために、目標値と実績値の差やその累計値のグラフ化を行うなど、目標を達成しているか否かの現状を把握できる状態にして、職員全員に周知することで、環境マネジメントの取組みへの参加のモチベーションを高める取組みを行ってはどうか。</p> <p>【システムの改善について】 ・環境マネジメントシステムの継続的な改善に向け、見直しを適切に行うことと規定されているが、見直しが確実に実施できるようシステムの活動状況、目標の達成状況などの環境情報の提供を会議で行い、適切な見直し指示が出るように運用を高めるべきではないか。</p> <p>【システムの向上について】 ・前年度の環境マネジメントシステムの見直しや内部環境監査での指示・指摘事項を確実に周知し、その改善が継続的にできているか確認すべきでないか。</p> <p>【環境管理研修について】 ・職員に対する環境管理研修はきちんとなされている。引き続き取り組まれたい。</p>	<p>・所属では、目標未達成の場合、その原因や対策をエコ課計簿(2)の目標の設定の見直し・改善措置等の欄へ記載しています。また、事務局では所属で目標未達成時に改善行動がとれるよう、内部環境監査で把握した所属の優れた取り組みの事例集を作成し、所属の取り組みを推進しています。今後も、事例集を充実させるとともに、所属で目標未達成の場合、その原因や対策が取られているか確認し、その内容をエコ課計簿研修会等で周知していきます。</p> <p>・職員のモチベーションを高めるため、エコ課計簿の目標値と実績値の差等のグラフ化など、職員が容易に目標への達成状態を把握できるよう検討します。</p> <p>・環境マネジメントシステムの改善のため、内部環境監査の結果等の情報提供を行っていますが、より一層の改善に向け、情報提供を充分に行い運用改善を図っていきます。</p> <p>・前年度の内部環境監査での指示・指摘事項は、エコ課計簿説明会や庁内の環境マネジメントシステムを円滑に進めるための情報誌である「モット・キット通信」などで周知していますが、前年度の指示・指摘事項の改善がされているかは、内部環境監査での確認など継続的に実施していきます。</p> <p>・今後も研修会の実施や「モット・キット通信」などを用い、職員がより一層環境配慮行動を行えるよう取り組んでいきます。</p>